

第1回桜井市地域公共交通活性化再生協議会会議要旨

- 日 時 平成23年8月25日（木）午後2時
- 場 所 桜井市役所 西分庁舎 入札室
- 出席者 協議会委員11名（うち、代理出席者4名） 事務局4名
- 会議内容
 - 1. 挨拶 桜井市副市長 箕輪周治
 - 2. 「平成22年度事務報告及び収支決算報告について」
 - 収支決算報告について
 - 【事務局説明】
 - ・ 資料のとおり説明
 - 収支決算報告について
 - ・ 監査員 藪野委員より資料に基づき報告

異議なく、承認される。
 - 3. 「平成22年度桜井市コミュニティバス及び桜井市デマンド型乗合タクシー運行結果について」
 - 【事務局説明】
 - ・ 資料のとおり説明
 - 【質疑応答】
 - ・ デマンドタクシーの運行結果の資料にある、1便当たりの平均乗車人員と1台当たりの平均乗車人員の違いは何か。
 - 1便当たりは、9時・10時・12時・14時・16時の利用者数である。1台当たりは、デマンドタクシーは小型、中型車両を使用して運行しているので、1便に2台以上運行している場合があり、その平均乗車人員となっている。
 - ・ 桜井市コミュニティバス多武峯線の利用者数で1日平均一般利用者数と前年度1日平均利用者数の違いは何か。
 - 平均一般利用者数は、多武峯線を利用して桜井南小学校と桜井中学校に通う児童・生徒を除いた数となっている。前年度1日平均利用者数は、前年度は奈良交通の路線バスであり、一般利用者数

- を把握出来ないことから全てを含めた数となっている。
- ・ デマンドタクシーの1便当たりの配車台数は把握しているか。
→現時点でデータを整理出来ていない。
 - ・ コミュニティバス朝倉台線と多武峯線には目標値が設定されているが、桜井初瀬線には目標値が設定されていないように思う。
→平成21年度に策定した「桜井市地域公共交通総合連携計画」に位置づけられた事業として、多武峯線のコミバス化、朝倉台線のルート変更、デマンド型乗合タクシーの運行がある。そのため、目標値を設定している。桜井初瀬線は、平成17年から継続して運行している路線で今回の事業計画には含まれていないので、目標値を設定していない。
 - ・ 桜井初瀬線の目標値を設定することは考えているのか。
→桜井初瀬線は年々減少しているため、以前運行していた頃の利用者数には戻したいと考えている。

異議なく、承認される。

4. 「桜井市デマンド型乗合タクシーの運行計画について」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明

【質疑応答】

- ・ デマンドタクシーは10時の便は利用が少ないが、16時の便は利用が多い。金曜日の9時、14時に加えて16時の便もあれば良い。
→上之郷地区長会から要望があり、十分に地域と協議させていただいた。年度途中の変更で予算の都合上もあり、今年度についてはこのような変更を提案させていただいた。16時の増便についても次年度以降検討していきたい。
- ・ 本日この案が承認されれば、手続きは間に合うか。
→間に合う。
- ・ この計画変更でどのような効果を期待しているのか。また、今後の見通し、需要予測についてはどのように考えているのか。
→今回の計画変更は、地元の要望があるなど地元とも十分に協議し、予算の範囲内での運行計画である。
今後の見通しは利用対象地域の拡大などの要望があるため、拡大の方向に進んでいけばよいが、予算の伴うことでもあるので、現状ではこの計画案で運行したいと考えている。

異議なく、承認される。

5. 「地域公共交通確保維持改善事業について」

【事務局説明】

- ・ 資料のとおり説明

【質疑応答】

- ・ 補助申請が認められなかったらどうなるのか。
→事前に十分な調整を図りたい。
- ・ 政党が変われば、この補助制度も廃止になるのか。
→スタートしたばかりの補助制度であるので、今後はこの補助制度を活用していくことになる。
- ・ デマンドタクシーの運行計画の変更で廃止になる便を利用されていた人の理解は得られているのか。
→地元で十分に調整されている。市も運行ダイヤの変更の周知は十分に行っていく。
- ・ デマンドタクシーの予約時間（発車時刻の30分前までに）の利用徹底を図っていただきたい。